

令和元年度 施策評価シート（平成30年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
 施策 02 緑を生かした景観の形成
 主管課： 都市計画課
 関係課： 経済課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内全域	市民が美しいと感じる景観が維持・創出されるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

緑被率（公園・樹林地・農地・草地・水面）						（%）	都市計画課
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）		
62.00	61.50	61.30	61.30	61.30	60.00		
向上指針	上がると良い	（現状）前年度との変化はほとんどなく、0.2ポイント減少していますが、目標値は上回っております。 （原因）保存緑地の指定や緑地の買取や借入などを進め、緑の保全が図られているためと考えられます。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題とする						

市内には、緑を生かした美しい景観が十分にあると思う市民の割合						（%）	都市計画課
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）		
75.40	75.90	78.80	78.80	78.80	75.00		
向上指針	上がると良い	（現状）前年度より2.9ポイント上昇し、基準値からも3.4ポイント上回っており、目標は達成しています。 （原因）保存緑地の指定や取得、愛宕谷津の保全など、身近に緑を生かしたまちづくりと美しい景観を感じているものと考えられます。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	612,638	691,759	677,148	597,339	571,606
人件費	25,231	29,870	25,175	0	0
トータルコスト	637,869	721,629	702,323	597,339	571,606

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
01 美しい都市景観の形成	横ば					84	11,711	3,314	4,894	3,300
02 緑地の保全	横ば					87,868	185,149	190,644	5,292	5,357
03 公園・街路樹等の維持管理	向上	維持				522,607	493,943	482,319	586,107	561,903
99 施策の総合推進						2,079	956	871	1,046	1,046

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>緑を生かした景観形成の一環として、グリーンインフラの取組により、稲戸井調節池、愛宕谷津及び立沢等の緑の拠点について、保全及び整備を計画的に実施する。 景観意識の向上を図るため、景観に関する分かりやすいパンフレットを作成し、市民への周知に努める。 公園の維持管理を効率化するため、維持管理の調査研究と市民力を生かした公園維持管理団体等の拡充に努める。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の実行内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>斜面緑地や庁舎周辺の保存緑地を取得するとともに、愛宕谷津の借地を行い、緑地の保全、緑の拠点づくりを進めています。 また、より良い景観形成を図るため、景観の創出や市民への周知について向上を図ります。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方針（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>引き続き、愛宕谷津の保全に向け借地の拡大を図り、緑の拠点として恒久的な保全を図ります。 公園まちづくり団体や公園等里親事業のボランティア団体と協力を図りながら、良好な公園等の維持管理に努めるとともに、参加団体の増加を図ります。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持